

りつめい No.277 / 2019年7月号

発行所 / 立命館大学校友会 / 年4回発行
 発行人 / 村上健治
 編集人 / 加藤美佐子
 〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1
 Tel. 075 (813) 8216 Fax. 075 (813) 8217
 URL: <http://alumni.ritsumeiji.ac.jp>
 E-mail: alumni@st.ritsumeiji.ac.jp

ご連絡先の変更はこちらから▶



りつめい

題字・末川 博名誉総長

立命館大学校友会報

女流棋士

輝くひと

香川愛生さん

('17文)

立命館大学校友会

No. 277
2019 JULY

100th

2019つながる校友会、
ひろがる立命館

| 巻頭特集 |

つながる ひろがる
校友会



積極果敢に挑み続ける

「勝つことでしか自分を肯定できなかった」。

15歳という若さで女流棋士になった香川愛生さん。その後、女流育成会（当時）を休会し、棋士の登竜門「新進棋士奨励会（以下、奨励会）」に入会[※]。1年半を過ごしたが、後にも先にもこれほど苦しいことはなかったと言い切るほど、孤独で壮絶な日々だったという。あまりの厳しさに負けず嫌いの香川さんの心も折れ、奨励会を退会。しばらく抜け殻ようになったというが、「棋士としての道は途絶えたが、女流棋士としてできることがあるはず」と再起を図る。拠点を関東から関西に移し、学生トップレベルの将棋研究会がある立命館大学へ進学した。

将棋研究会のレベルの高さを目の当たりにし、圧倒されたと入会時のことを振り返る。最初は勝つことができず、プロとして情けないと自分を責めていたが、次第に「先輩たちと同じ景色が見たい。私は女流棋士としてタイトルを取りたい」と前向きな目標が持てるように。「それまでは“最善を尽くす”という意味を“100点を取り続けること”と解釈し、勝負師としてストイックに取り組んできました。しかし、勝ち負けにかかわらず、ありのままを受け入れてくれる将棋研究会で過ごすうちに、満点が取れない自分を受容し、“自分を超越る”ということに軸足を置けるようになりました」。学業と両立しながら研鑽を積み、2013年に女流王将を獲得、2014年には連覇を果たすなど大きく花を咲かせた。

20代後半を迎え、決意を新たにする。「20代前半は体験することを大切にしてきました。これからはその体験を糧に、想いを形にすることに力を注いでいきたい」。その1つとして、イベントの企画やプロデュースなどを通じて将棋の普及を目的とした会社を設立した。年齢や経験を重ねると知らず知らずのうちに守りに入り、攻めが弱くなるが、それは将棋盤の上でも同じだと香川さん。「『香車』のように勢いを保ち、前進し続けるのが私らしさ。将棋も人生も攻めの姿勢を忘れず、生涯、『女流棋士 香川愛生』の務めを果たしたい」と目を輝かせた。

※将棋のプロは「棋士」と「女流棋士」で制度が異なる。



女流棋士
かがわまな お
香川愛生さん（17文）

輝くひと
109

■ PROFILE

東京都出身。9歳から将棋を始め、2008年、中学生で女流棋士に。奨励会を経て、2013年に女流王将を獲得。翌年防衛。現在、女流三段。好きな言葉は「百折不撓」。初の著書となる『職業、女流棋士』（マイナビ新書）が好評発売中。

立命館大学校友会報

りつめい JULY 2019
No.277

03 巻頭特集
立命館大学校友会設立100周年

つながる ひろがる校友会

02 輝くひと
女流棋士
香川愛生さん

10 100周年記念オール立命館校友大会予告

12 校友会未来人財育成基金

13 「校友会未来人財育成基金」特別募集のご案内

14 RITSUMEI INTERVIEW

株式会社堀場製作所 代表取締役社長
足立正之さん

18 立命館の研究者たち

グローバル教養学部 金山 勉 教授・学部長
「問題の本質を見抜き、解決に導く力を養う」

20 2019年度校友会幹事会報告

21 校友会ネットワーク

行事報告
今後の行事予定

25 学生の活躍

26 キャンパストピックス

29 VIEW OF THE WORLD

30 INFORMATION
編集室から

掲載内容は全て、2019年5月時点のものです。
デザイン・ディライツ広告事務所

立 命 館 大 学 校 友 会 設 立 1 0 0 周 年



1919
▼
2019

つながる ひろがる校友会

1919年、「立命館大学校友会」が誕生しました。

あれから100年。

母校の発展とともに、校友数は約36万人となり、立命館大学校友会に登録する校友会は、都道府県、学部・学系、海外、地域、職域、学科・ゼミ、サークルなどをあわせて700^{*}以上。年代、学部、国境など、さまざまなボーダーを超えてつながり、多様性もひろがりました。

今号と次号の特集では立命館大学校友会設立100周年特別企画として、立命館大学校友会の“歴史”と“今”にクローズアップ。

今号の“歴史”では、立命館大学校友会設立までのストーリーを紹介し、“今”では、立命館大学校友会に携わりながら、未来に挑戦し、ボーダーを超えていく校友たちに話を聞きました。

文：P3、6-9 高原 珠美 撮影：P6-7、9 舟田 佳代 P8 梅田 直子

※2019年2月現在

History

今年、設立100周年を迎える

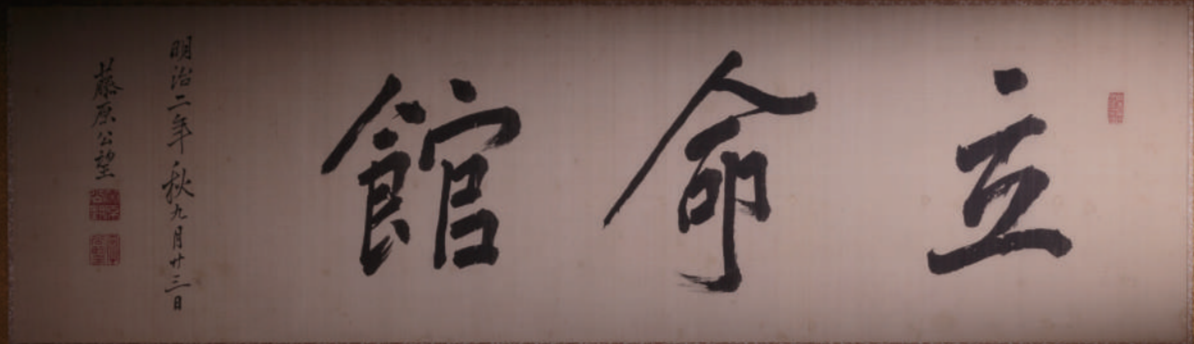
立命館大学校友会。

1世紀にわたり、

先輩から引き継がれる想い。

「校友会のはじまり」を、

いま一度振り返ろう。



History

1869 (明治2年) 西園寺公望が京都御苑内の私邸に私塾「立命館」を創始

1900 (明治33年) 中川小十郎が鴨川河畔の元料亭「清輝楼」を仮校舎に、夜間開講の「私立京都法政学校」を開く

1901 (明治34年) 12月、清輝楼の仮校舎から広小路新校舎に移転

1903 (明治36年) 7月、京都法政学校第1回卒業式が行われ、57名の第1期生が卒業。9月、専門学校令により京都法政学校を私立京都法政専門学校へと改組

1904 (明治37年) 9月、専門学校令により私立京都法政大学へと改称し、大学部（法律学科、経済学科、予科）と専門学部（法律科、行政科、経済科、高等研究科）を設置

1905 (明治38年) 西園寺公望より「立命館」の名称継承を許諾される

1913 (大正2年) 12月、財団法人立命館設立
これを機に、私立立命館大学へと改称

1918 (大正7年) 大学令公布

1919 (大正8年) 11月23日、円山公園の料亭「左阿彌」で開かれた母校創立20周年記念校友大会の席上で、全国校友会が結成される

1922 (大正11年) 6月、大学令による「立命館大学」(旧制)への昇格が認可

校友へと引き継がれる想い

開かれた教育の必要性を説き、

私塾「立命館」を開いた西園寺公望。

その志を継ぎ、勤労者のための夜学

「京都法政学校※1」を開いた中川小十郎。

中川の下で学び、卒業した校友たちにも、

その精神は息づいていた。

(敬称略)

学祖

西園寺 公望 Kinmochi Saionji

1849年、徳大寺公純の次男として生まれ、西園寺家を継ぐ。1869年私塾「立命館」を創設。1871年より9年間にわたるフランス留学を経て、帰国後は自由民権運動に関わる。その後政界に入り、1906年と1911年に内閣を組織。1912年、元老となる。1940年、91歳で逝去。



創立者

中川 小十郎 Kojuro Nakagawa

1866年、現在の京都府亀岡市生まれ。1893年、帝国大学を卒業し文部省へ入省。西園寺公望文部大臣の秘書官として京都帝国大学、日本女子大学の設置に携わる。文部省退職後、1900年に京都法政学校を設置。学校経営の傍ら、大同生命保険筆頭取締役、台湾銀行頭取などを歴任し、1944年に78歳で逝去。



校友会始動

昇格運動から始まる100年の歴史

大学令により、岐路に立たされた立命館大学。

専門学校に留まるか、大学に昇格するか――。

母校の未来を案じた校友たちは、

必要な供託金を集めるため、全国校友会を組織する。

……………

1918年12月6日の大学令公布は、学園の歴史上でも、校友会の成り立ちを語る上でも、大きな転機となった。それまで公式に大学といえば国立の帝国大学のみを指しており、立命館は京都法政大学の時代から「大学」と名乗っていたものの、制度上は専門学校に位置づけられていた。文部省はこうした高等教育機関に対して、一定の条件を満たすことで大学と認める一方で、その他は大学と名乗ることを禁止する大学令を定めた。中川をはじめとする立命館首脳部は当初、昇格に対して消極的であった。というのも、中学・高校を経ていない勤労青年たちに帝大レベルの教育を提供するという立命館の目的は既に実現していること。さらに大学昇格となれば、文部省への供託金や、屋間の開講、専任教員を準備しなければならないことがその理由であった。宗教的バックグラウンド

や卒業生を通じた実業界とのつながりを持たず、安価な授業料を維持してきた立命館にとって、供託金を納める財政的な余裕はなかった。

……………

形式よりも教育内容の充実を求める学園側に対し、各地の校友会※2は昇格を強く訴えた。

当時の校友たちにとって、大学昇格は自分自身の社会的地位を高めることであり、母校が大学と名乗れなくなることは何としても避けたい事態であった。もちろん校友側も、大学昇格のために課せられた供託金や諸条件が大きな負担になっていることはわかっていた。そこで昇格に二の足を踏む中川らを説得すべく、昇格に必要な供託金集めを買って出ることにした。しかし各地の校友会がバラバラに動いたのでは効率が悪い。募金活動を校友が団結して行うためには、何よりも一枚岩の校友会が必要であると考えた。こうした校友の想いにより、1919年11月23日、母校創立20周年記念校友大会の場で全国組織としての「立命館大学校友会」が誕生した。

……………

全国組織として校友会が整備されると共に、大学昇格に向けた議論も本格化。中川の説得に成功した校友会は、昇格に

必要な供託金の募金活動に取り掛かった。校友会が組織されたことで指揮系統が動き、昇格運動は好調な滑り出しを見せ、その結果、1922年6月に昇格が文部省より通達された。

昇格が可能となったのは、供託金の約半額を自身と自身の関係者で賄った、中川の財政負担によるものが大きい。だが、全校友合わせて800名足らず、そのほとんどが決して裕福でなかった時代において、181名から供託金の半額近くが寄せられたという健闘ぶりからも、校友たちの昇格にかけた切実な想いがうかがえる。昇格後も校友会の母校への支援は尽きることはなかった。財団法人立命館発行の逐次刊行物の『立命館学誌』には毎号のように「敢えて校友諸君の義心に訴ふ」と題した寄付依頼が掲載されている。その文面は「単に昇格達成の一事を以て、我々の母校に対する奉仕が、全く終わりを告げたりとは謂う事能はざるなり」「此際更に一致協力の義心を発して、母校の発展に努められんことを」と、熱のこもったものであった。

※1 京都法政学校は、「京都法政専門学校」、「京都法政大学」の名称を経て、1913年に「私立立命館大学」と改称

※2 1903年、京都法政学校の第1期生卒業以降、京都、大阪、東京で校友会が結成されていた

グローバル
×
挑戦

国境も
自分の領域も
超えて



2回生の春、大学主催の短期留学プログラムに参加し、インドのニッテ大学に行きました。現地で直面したのは深刻なごみ問題。想像以上の状況に衝撃を受けました。インドの学生たちと共に環境改善ができればと思い、+R校友会未来人財育成奨学金（成長支援）※1を受給。IoT（モノのインターネット）を利用し、ごみの量をセンサーで把握するごみ箱やごみの自重で大きくなるごみ箱の開発をしました。結果、導入には至りませんでした。自分の専門や国を超えて新しいものをつくることで視野が広がりました。また、日本でも学生団体に所属し、地域に根ざした活動をしていました。これらの経験は、国内外問わず生かせる力になったと確信しています。今後は応用物理学の博士号取得のため、アメリカのRice Universityに進学します。アメリカへ渡ることは僕にとって大きな決断でしたが、物理学を究めると同時にグローバルな視点を養い、自分にしかできない方法でエネルギー・環境問題の解決に力を注ぎたいと考えています。

※1 学生の自主的な学びの支援を目的とした立命館大学の奨学金制度。その資金は校友会未来人財育成基金から拠出している。

PROFILE

静岡県出身。+R校友会未来人財育成奨学金（成長支援）受給者。学内の登録団体RISA(Ritsumeikan Space Association)でロケット開発や課外活動でSDGsの取り組みを行い、2017年には立命館大学Sustainable Weekの副実行委員長も務めた。2019年9月からRice Universityに進学予定。

しらとり かつや
白鳥 克哉 さん
（'19理工）

成長
×
応援

互いに成長できる
フィードバックを



校友会でリコネクト※2関西のスタッフをしているのですが、立命館アジア太平洋大学校友会関西チャプターとの共催イベントを通じ、夫と出会いました。結婚を機に大阪に引っ越しましたが、卒業直後からお世話になっている奈良県校友会に今も参加しています。在学中、オリター団として活動。人と一緒に何かを成し遂げることや人が成長するためにサポートをすることが好きで、今も校友会活動に携わっています。仕事は、アジアを中心としたホテルのオンライン予約を扱う外資系の会社でマネージャーをしています。さらに管理職としてステップアップするため、目下トレーニング中です。人を育てるためには、自分も成長する意欲と熱意が必要です。仕事でも校友会でもロールモデルにしている女性たちがいますが、彼女らは勉強熱心で、びっくりするほどパワフル。そんな先輩方を見習いながら、私自身も周りに良い影響を与えられる女性でありたいと日々研さんしています。

※2 若手校友活性化事業

PROFILE

奈良県出身。現・立命館大学校友会幹事、奈良県校友会若手校友会副会長、立命館大学校友会総務委員会委員、リコネクト関西スタッフ、リコネクト女子会代表、100周年記念オール立命館校友会実行委員。Agoda International Japan株式会社でマーケティングマネージャーとして勤務。

ごとう みな
後藤 美奈 さん
（'12院国関）

かがやき
×
未来

ち
よ
つ
と
遠
く
の
子
ど
も
た
ち
の
た
め
に



仕事柄、人とつながるツールの一つとしてワインを学び始めたのですが、いつの間にかワインエキスパートとして、ワインスクールで教える立場になりました。人を集わせるワインの力に魅了され、東京校友会で「Ritsワイン」を運営しています。卒業後、しばらくは校友会と無縁の生活でしたが、大先輩に誘われ、3年ほど前に東京校友会に参加。東京校友会のビジョン「Re-born2.0」に深く共感し、今では主催者側として携わっています。現在、第一子の育児をしています。子育ての大変さは想像以上。でも、愛情をたっぷり注ぎながら、娘との時間を満喫中です。「天国と地獄の長い箸」のエピソード（情けは人のためならず）が私の職業観なのですが、育児も同じなのではと思うように。娘に感じている「いといい」という気持ちは、わが子だけではなく、未来を担う子どもたちのために行動を起こす原動力になるということです。赤ちゃんのための木育*活動に参画したり、ランチ1回分の予算で毎月、発展途上国の子ども達の支援をしたりと、できることから始めています。「ちょっと遠くの子どもたちのために行動する」。母となり、私の指針がクリアになったように感じています。

※ すべての人が木とふれあい、木にまなび、木と生きる取り組み

PROFILE

熊本県出身。現・東京校友会常任幹事で、東京校友会公式サークル「Ritsワイン」を主催。株式会社リクルートエグゼクティブエージェントでエグゼクティブコンサルタント業務に携わる傍ら、都内のワインスクールで講師も務める。

むら かみ
村上しほりさん
('07産社)

きずな
×
多様性

よ
り
強
い
つ
な
が
り
を
つ
く
る

校友会に関わって40年以上。就職してすぐ、職場の先輩に北九州校友会の会計担当を命じられたのがきっかけでした。当初、校友会の役員になるつもりはありませんでしたので、幹事長就任の打診を辞退し、長年裏方で活動してきました。しかし、病で伏せていた当時の北九州校友会幹事長に頼まれ、引き受けることに。それが最後のやり取りでした。

校友会活動に熱心だとよく言われますが、自分でそう感じたことはありません（総会や会議に参加するたび、娘からは「また、校友会?」と言われますが……）。そんな私が大切にしているのは、顔を合わせてコミュニケーションを取るということ。当時、参加が少なかった若手や女性校友が参加しやすいイベントを企画したり、広小路キャンパスで過ごされた先輩方が楽しめるパーティーを開催したりと、校友が気軽に集まれる機会を増やしました。それらの取り組みが各県にも広まっていったようで、今、振り返ると校友会の新しい土壌づくりに寄与できたのかなと思っています。

PROFILE

福岡県出身。現・立命館大学校友会常任幹事、立命館大学校友会未来人材育成基金募集推進特別委員会副委員長、立命館大学北九州校友会事務局長。2004年、北九州校友会幹事長に就任後、校友会の活性化、循環型の組織づくりのために活動。福岡ひびき信用金庫に勤務。外国為替グループ長を経て、海外支援グループに所属。



はつ むら まさ のり
初村雅敬さん
('78経済)



100周年記念 オール立命館 校友大会

日程 10/19(土)

場所 国立京都国際会館

100年の軌跡と未来への挑戦

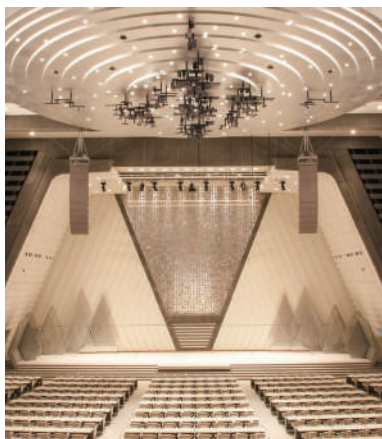
RITSUMEIKAN
ALUMNI
100th

100年に1度の祭典、立命館発祥の地『京都』で開催!!

企画1 校友会100周年 記念式典

14:00~15:00
〈事前申込制・先着順〉

立命館大学校友会設立100周年を記念した式典を開催します。あらゆる世代を超えて、立命館との“絆”、校友との“つながり”を体感する機会です。これまでの100年を振り返るとともに、次の100年に向かう新たな出発を一緒に祝いましょう!



企画2 校友会100周年 祝賀会

15:30~17:30
〈事前申込制・先着順〉

記念式典後、校友会設立100周年を盛大に祝う祝賀会を開催します。立命館発祥の地である「京都」らしさが溢れる企画を存分にお楽しみください。例年、大好評の『立命 酒の陣』、日本全国から銘酒を集めて今大会も開催します!



参加申込について

6月下旬より校友会ホームページ、FAXにて申込受付開始の予定です。FAXでお申し込みの場合、専用申込用紙をお送りしますので、校友大会受付事務局(075-365-7726 (株)JTB京都支店)までお問い合わせください。

立命館大学校友会ホームページ <https://alumni.ritsumeij.jp/>



参加費

母校・後輩 応援チケット

- 40代以上の校友、および同伴者……7,000円
- 20~30代の校友、および同伴者……4,000円
- ※上記チケットには、校友会未来人財育成基金への寄付金1,000円が含まれています。寄付金分の1,000円については、学校法人立命館から領収書が発行されます。

通常チケット

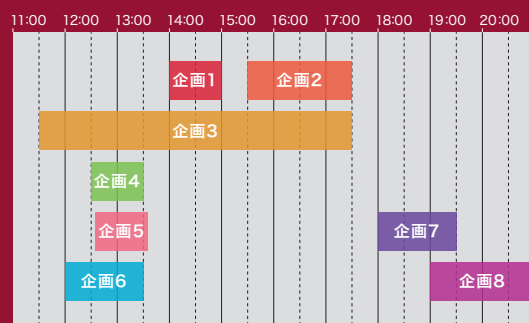
- 40代以上の校友、および同伴者……6,000円
- 20~30代の校友、および同伴者……3,000円

◆高校生以下(校友同伴)……参加費無料

公式二次会 チケット

- 40代以上の校友、および同伴者……2,000円
- 20~30代の校友、および同伴者……1,000円
- ※二次会チケットのみの購入はできません。
- 母校・後輩応援チケットもしくは通常チケットと合わせてご購入ください。

▼当日のイベント予定タイムライン



託児室・授乳室・オムツ替え室を
開設します(使用料無料)



小さなお子さまがいっぱしゃる方も是非ご参加ください!

企画3

立命館ミライEXPO

11:30~17:30
[会場内出入り自由]

『未来への挑戦』をテーマに、校友会の枠を超えた新しい企画が満載!立命館ミライEXPO限定の学生・校友によるコラボレーション、「ART / FOOD / SPORT / MUSIC / TECH」をテーマにした20を超えるブースを展開します。



※過年度の様子

企画4

なつかしの立命館

12:30~13:30
[会場内出入り自由]

「仰げば鼻、伏す目に鴨の流れ」と謳われた立命館大学発祥の地、「広小路学会」で学ばれた校友の皆さま世代を対象とした企画です。青春時代を振り返り、若き日を懐かしんでいただける、思い出深い資料や模型を展示するとともに、特別講演会も開催します!



広小路世代へ
オススメの
企画

企画5

はんなりカフェ

12:40~13:40
〈事前申込制・先着順〉

女性校友とその家族のための交流会。話すことが楽しくなるミニセミナーを開催します。ご当地スイーツもお楽しみに!



女性対象
企画

企画6

理工系学部・ 同窓会合同企画 理工系学部の 新展開と 日本の科学技術の挑戦

12:00~13:30
〈事前申込制・先着順、同伴者可〉
※理工系学部卒業生以外は100名限定
●会場:グランドプリンスホテル京都

開設25周年を迎えたびわこ・くさつキャンパス(BKC)と共に歩む理工系学部の新展開をご紹介しますとともに、日本の科学技術の挑戦のシンボルであるJAXAの「はやぶさ」プロジェクトを推進する宇宙科学研究所 國中 均 所長にご講演を賜ります。

理工系
出身者へ
オススメの
企画

企画7

公式二次会 R salon

18:00~19:30
〈事前申込制・先着順〉

祝賀会終了後、引き続き、全国の銘酒とともに旧友との再会や新しい出会いをお楽しみください。



企画8

公式二次会 R Aqua Night

19:00~21:00
〈事前申込制・先着順〉
●会場:京都水族館

夜の京都水族館を貸し切りで、立命館の若手校友限定イベントを開催!



※過年度の様子

若手校友
20~30代対象
二次会企画

2019.つながる校友会・ひろがる立命館
『立命館大学校友会設立100周年記念誌』発行!

校友の皆さまのご協力のもと、
校友会史上初となる記念誌が完成しました。

主なcontents

- 100周年応援隊 スペシャルインタビュー
- 校友会活動ビジョン
- 【特集】校友会のいまと未来
- 【つながる編】校友会の歴史と伝統を、未来へとつないでいく
- 【ひろがる編】縦横無尽にひろがる校友会のネットワーク
- 【資料編】[巻末写真集]

(編集)校友会設立100周年記念事業特別委員会



大会
参加者に
もれなく
進呈!

- A5判
- 248ページ
- 並製本



私たちも「校友会未来人財育成基金」を応援します！

立命館大学校友会は、校友会未来人財育成基金の募集を通じて、先輩から後輩へ支援の輪を広げています。校友はもちろん、校友会から支援を受けた在学学生からも寄付が生まれています。

循環型の後輩支援文化づくりを目指して

校友会の支援を受けた学生から、在学中に校友会未来人財育成基金への寄付をいただきました。

立命館大学校友会は、校友会未来人財育成基金の支援の輪を広げるために「大学や校友会から支援を受けた学生が、卒業後あるいは在学中に後輩学生たちへ寄付を行う循環型の後輩支援文化づくりを目指す」活動を行っています。

今年も卒業式の日、在学中に支援を受けて活躍した学生から「自分たちが支援を受けたように、後輩のために役立てて欲しい」と寄付の申し出がありました。先輩から後輩へ、支援のバトンをつないでいきます。



野崎 舞夏星さん('19スポ健)
静岡県出身。
全国女子相撲選抜ひめじ大会優勝など、
相撲部で活躍。静岡県校友会、
京都校友会のトークイベントに出演。



林 真帆さん('19政策)
京都府出身。
京阪電気鉄道のイメージキャラクター、
「6代目おけいはん」。2018年京都
校友会のイベントで司会を担当。



石橋 晶詠さん('19経済)
福岡県出身。
+R 校友会未来人財育成奨学金の
海外留学支援受給者から初の寄付。
奨学金でベトナムの観光調査を実施。



齋藤 光さん('19法)
茨城県出身。
+R 校友会未来人財育成奨学金の
成長支援を受給。
「地域×立命館」をテーマに活動。



森田 崇文さん('19理工)
愛知県出身。
+R 校友会未来人財育成奨学金の成長支援
を受給。ロボット開発等を通じ、地域の問題を
解決するビジネスモデルの構築を行った。

寄付実績 (2019年3月31日時点)

3,485
の個人・団体・法人から
202,144,671円

「100周年記念オール立命館校友大会」開催記念 「校友会未来人財育成基金」特別募集のご案内

「100周年記念オール立命館校友大会」の開催を記念して、校友会未来人財育成基金の特別募集を行っています。校友一人一人が主人公となり、未来を切り拓く人財を育成する活動に、ぜひご支援ください。

特別募集要項

今回の特別募集にお申し込みくださった方の情報（〔個人〕氏名、卒業／修了年、卒業学部／修了研究科、〔団体・法人〕名称、お申込口数）は、立命館大学と立命館大学校友会で共有のうえ、会報「りつめい」278号同封の「寄付者芳名録」に掲載させていただきます。

申込期間 2019年6月1日(土)～7月22日(月)
申込金額 【継続のご寄付】1口(1,000円)以上
【一括のご寄付】10口(10,000円)以上

個人	継続のご寄付	インターネット	▶ 校友大会特設WEBサイトから、特別募集申込画面にアクセスいただき、お申し込みください。
		お電話	▶ 立命館大学校友会事務局へお電話ください。その後、口座振替の手続き方法をご案内させていただきます。
	一括のご寄付	インターネット	▶ 校友大会特設WEBサイトから、特別募集申込画面にアクセスいただき、お申し込みください。
個人・団体	一括のご寄付	お振り込み	▶ 同封の「一括のご寄付用 振込用紙」に必要事項をご記入いただき、ゆうちょ銀行・郵便局・銀行等金融機関の窓口でお振り込みください。
法人	校友大会特設WEBサイトから「問合せフォーム」をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ「立命館 総務部 寄付事務局」までFAXにて送信してください。その後、手続き方法の詳細をご案内させていただきます。		

校友大会特設WEBサイト <http://www.hajimari.info/2019kyoto/>

税制上の優遇措置について

本寄付は学校法人立命館に対する寄付金であり、税制上の優遇措置を受けることができます。

校友大会
特設
WEBサイト



お問い合わせ先

[受付時間]土日祝を除く 9:30～17:00

■ 本特別募集に関しては
立命館大学校友会事務局 TEL 075-813-8216
■ 税制上の優遇措置に関しては
立命館 総務部 寄付事務局 TEL 075-813-8110

特別募集にお申し込みの方には、
立命館特製グッズをプレゼント！

今回の特別募集にお申し込みの方全員に、
オリジナル「お箸」をプレゼントします！
7月下旬から発送させていただきます。



Joy and Fun

「おもしろおかしく」 新ステージへ挑戦

株式会社堀場製作所 代表取締役社長

足立 正之さん

(’85 理工)

足立正之さんは、京都に拠点を置き、
グローバルに事業を展開する分析・計測機器メーカーの株式会社堀場製作所で
20年以上にわたって新製品開発に携わった後、2018年、代表取締役社長に就任された。
開発者としてのこれまでの歩みと経営者として描く未来について伺った。

立 命館中学校から立命館大学まで10年間を立
命館で過ごしました。もともと理系科目が好き
でしたが、高校に入った
頃から特に物理と数学の成績が伸び
たので、理工学部の数学物理学科に
進学しました。工学部と違って物理や
数学は将来の就職に直結する分野で
はありませんが、当時は将来のことな
どあまり気にせず、好きな分野を選び
ました。入学後は物理を専攻。4回生
の卒業研究では、光物性について研
究しました。

卒業研究で取り組んだテーマは、
「結晶の純化」について。物質を高純
度の結晶にして光を通し、その波長を
測定して物質の特性を明らかにすると



大学時代、ラボで
レーザーの光学調整をする足立さん。

いうものでした。難しかったのは、結晶を純化させるため
の装置をつくること。「どうしたものか」と困っていた時、
「結晶をつくっている会社が京都にあ
る」と紹介されたのが、堀場製作所
(以下、HORIBA)でした。ちょうど就
職活動の時期だったこともあり、興味
本位で会社訪問に赴いたところ、とん
とん拍子に就職が決まって。結果的に
この1社しか採用試験を受けませんで
したが、どんな会社であっても「入社
してからが勝負」と考えていたので、
迷いはありませんでした。「卒業研究
にも役立ちそうだし、いい会社と縁が
あったな」と思ったものです。

大学時代の思い出は、勉強だけで
はありません。4年間夢中になったの



撮影：平林義章



る部品の開発からスタートし、次に部品を組み合わせたユニット、さらにシステム全体と、キャリアを重ねるにつれて少しずつ責任範囲が広がっていきました。

計測装置はお客さまごとにオーダーメイドでつくられます。自動車メーカーのお客さまがどのようなエンジンを開発しようとしているのかをお聞きし、その性能を測るためにはどんな装置が必要かを考えるのが開発の第一歩。そ

が、オートバイです。「立命館二輪車同好会」に所属し、モトクロスに熱中しました。軽トラックにレース用バイクを積んで、兵庫県の三田や奈良と大阪の県境にある生駒山などへ出かけて行ったら、数々のレースに出場。山あり谷ありの凸凹コースを飛び跳ねたり、時に転んだりしながら走るのが楽しかったです。それ以上に面白かったのが、バイクいじりでした。小さい頃から機械が好きで、とりわけバイクや車のエンジンが好きだったので、レースの後、土道を走って泥だらけになったバイクを全て分解し、部品の一つ一つをきれいに掃除して、また組み立て直すのが最も楽しい時間でした。その時の排ガスや熱くなったエンジンのにおいを今でも覚えています。

大学での経験が 開発に直結

入社して最初に配属されたのは、開発本部の光素材チーム。大学で学んだ光物性についての知識が役に立つ部署でした。携わったのは、主に自動車メーカーに採用されている排ガス測定装置などの開発です。装置に使われ

の時役立ったのが、大学時代にバイクをいじって身に付けた知識です。大学での学びと好きなことに熱中した経験の両方を仕事に生かすことができました。

現在、各自動車メーカーは、いかに省エネで環境に優しいエンジンをつくるかにしのぎを削っています。特に1980年代後半から2000年代にかけては技術の進化に伴い、自動車が複雑な電子制御によって動くものへと大きく変化していく時期でした。それにどう対応するか。自動車メーカーの開発者と一緒に考え、これまでにない分析技術や装置を開発するのが面白かったです。「チャレンジマインド」を持って未知のことにエキサイティングに挑み、新しいことを生み出してみせる。そんなHORIBAならではの開発の醍醐味を思う存分味わいました。

もちろん新しいものをつくる過程では、失敗もたくさんありました。一生懸命開発したのにまったく売れなかった製品もあります。お客さまに新しい技術の価値をしっかりと伝えきれなかったり、社会や自動車業界の状況によって採用されなかったりと、技術の高さだけでは受け入れられないことも学びました。そうした経験の全てが血となり肉となり、今につながっていると感じています。

苦しいときこそ HORIBAらしさを大切に

大きな試練を経験したのが、アメリカにあるホリバ・インターナショナル社（現ホリバ・インスツルメンツ社）の社長を務めた時です。自動車のグローバルセグメントリーダーとして全世界の当社の自動車関連事業を統括する仕事を経て、アメリカを任されたのは2007年のこと。その直後、リーマン・ショックが起り、特にアメリカでは著しい不景気となりました。

厳しい経営状況を打開するため、試行錯誤する日々。その中で大切にしたのは当社の企業哲学、いわば「HORIBAらしさ」を共有することでした。「人生の最も活動的な時期を過ごす会社での日常をやりがいとチャレンジ精神を持って取り組み、自ら『おもしろおかしく』実り多い人生にしたい」。それが当社の大切にする「HORIBAらしさ」です。社員のほとんどは現地社員のため、最初は「こうしてほしい」と方針を伝えても「それは日本流でしょう」という反応もありましたが、「いや違う。これは『HORIBA流』です」と根気よく伝え続けました。厳しい環境であったからこそ社内が一致団結。一人一人がどうすれば会社が良くなるのかを真剣に考え、率先して行動する社員たちの素晴らしいチームワークで危機を乗り切ることができました。国や言葉、文化が違っても、同じ目標を持って一緒に仕事することができると実感した経験でした。

どんな時も当社の社是である「おもしろおかしく」の精神を大切にしてきましたが、困難にぶつかっている最中にはなかなかそうは思えないものです。「面白かった」と思えるのは、後で振り返った時。アメリカでの4年間も、当時は毎日日本が大変だったけれど、今では心から「良かった」と思えます。今が苦しければ苦しいほど、きっといい結果につながっていく。今そう確信できるのは、アメリカでの経験があったからだと思っています。

現場経験の強みを生かし、 次なるステージへ

立命館大学の校友とは、仕事を通じて親交を温め直すことが少なくありません。「立命館二輪車同好会」の先輩だっ

た元ボッシュ株式会社取締役副社長の森川典子さん（立命館大学校友会 副会長）もその一人です。5年前、校友会報『りつめい』に掲載された森川さんの記事を拝読してバイクと一緒に走った先輩だと思い出し、すぐに連絡を取って会社に伺いました。ボッシュは当社にとっても大切なお客さま企業の一つで、それ以来親しくさせていただいています。また研究室の大先輩であるローム株式会社社友の高須秀視さんには長年仕事でお世話になっています。キャリアの中で校友との不思議なご縁を感じるたびに、立命館の10年間で、一緒に勉強したり、遊んだり、泣き笑いを共にした仲間たちが現在の自分を育ててくれたのだと実感します。

2018年1月に当社の代表取締役社長に就任しました。光栄に思うと同時に重い責任を痛感しています。長年新規開発に携わり、「開発現場を知っている」ことが私の強みです。今後リーダーが「技術屋」であるという特長をしっかりと打ち出していきたいと考えています。

当社は現在「次なるステージへ“One Stage Ahead”」と称し、さらに高い次元へとステップアップしようとしています。当社にしかないコア技術を大切にしながらも、それを生かして新しい事業の創出や事業範囲の拡大を目指していきます。5年後、10年後を見据え、変化をチャンスにし、新しい分野を切り開いていかねばならないと考えています。今まで大切にしてきた「おもしろおかしく」「楽しむ」という気持ちを忘れずに、これからも挑戦を続けていくつもりです。

PROFILE

株式会社堀場製作所
代表取締役社長

足立 正之さん

1985年理工学部卒業。株式会社堀場製作所で主に自動車のエンジン計測機器の開発に従事。自動車関連部門のグローバルセグメントリーダー、アメリカ、フランスにあるグループ会社の社長などを歴任し、2018年1月、同社の代表取締役社長に就任。



当社にも毎年、数多くの後輩が入社してくれています。「おもしろおかしく」を実践するHORIBAの一員、「ホリバリアン」として全力で楽しんで仕事してほしいと思っています。

問題の本質を見抜き、 解決に導く力を養う

インターネットを通じてさまざまなニュースが一瞬にして世界を駆け巡る現代において、メディア・報道はどうあるべきかについて研究する、金山 勉教授。
金山教授が学部長を務めるグローバル教養学部が、2019年4月、いよいよ誕生した。

インターネット時代の メディアのあり方を考える

2016年4月、熊本地震の直後に「動物園からライオンが逃げた」というデマがSNSを通じて流され、騒動になった。「インターネットの普及によって、現代では誰もが思いのままに情報を発信できるようになりました。さまざまなニュースが文字だけでなく画像や映像とともに流され、事実かどうか分からないまま拡散されていく。そうした時代であって、一般の人による発信とは異なるプロフェッショナルとしてのメディアや報道はどうあるべきかについて研究しています」。

そう語る金山 勉教授は、ジャーナリスト、アナウンサーとして報道に携わった経験を経て研究の道に進み、以来放送メディアの変遷を追いつけてきた。「新聞、ラジオからアナログテレビ、デジタルテレビ、さらにインターネットへと、メディアの変遷はテクノロジーの進化の歴史でもあります。その中でも“世界をつなぐ”という点で転換期となったのがデジタル放送の開始でした」という金山教授。デジタル化によってより多くの情報を送受信できるようになり、新たな通信手段が次々誕生した。「そしてそれ以上に大きなインパクトを与えたのが、インターネットの台頭でした」と続ける。

メディアを読み解く力が必要

「今や“オールドメディア”といわれるテレビが主役だった頃は、公に情報を発信するマスコミは良識・良心に基づいて公共の利益に資する情報を取捨選択し、発信することが前提となっていました。だからこそ市民もメディアに信頼を置いてきたのです」と金山教授。しかしインターネットを通じてフェイク・ニュースなどがあたかも事実のように流布され、世界を混乱に陥れ、世論をミスリードする可能性がある時代になり、メディアに対する人々の信頼は大きく揺らいでいる。「『メディア・リテラシー』という言葉

グローバル教養学部

金山 勉 教授・学部長

がしばしば使われますが、現代では情報を受け取る側においてメディアからの情報をうのみにせず、正しく読み解く力が求められます。それと同時に報道に関わるプロフェッショナルだけでなく、社会全体が自らのこととしてメディアのあり方を自問自答していかなければなりません」と金山教授。「そのためには、一人一人が多角的な視点で情報を見極め、その上で自らが社会の課題に対し、解決策を提示していく力を身につける必要があります」。

グローバルな世界で生きる リベラル・アーツを学ぶ新学部誕生

地球規模の問題が山積する今、複眼的な視点で事の本質を見抜き、解決に導くことのできる力は、世界のあらゆるところで必要とされている。そうした時代の要請に応える力を持った人材の育成を目指して、2019年4月、グローバル教養学部が誕生した。「ヨーロッパで確立された教養（リベラル・アーツ）は、知識を得るだけでなく実践的な技量と創造力を養う学問体系です。『アジア』の文脈から世界を捉え直し、グローバル化された社会への



グローバル教養学部では国際的な環境のもと、All Englishで学ぶ



Profile

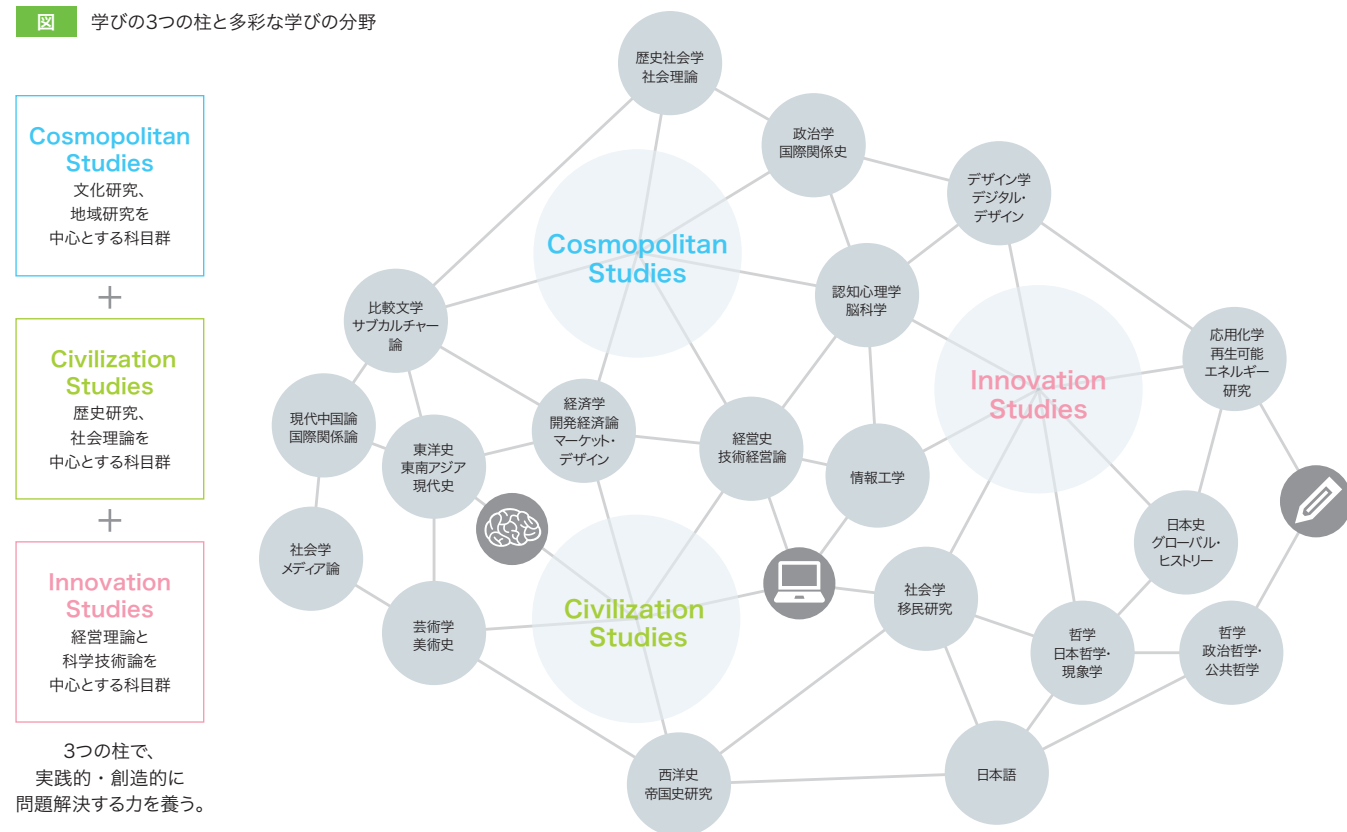
Tsutomu Kanayama

1983年 山口大学人文学部卒業
1993年 ウェスタンミシガン大学大学院 コミュニケーション研究科
ゼネラル・コミュニケーション学専攻修士課程修了
1998年 オハイオ大学大学院 コミュニケーション研究科
マス・コミュニケーション専攻テレコミュニケーション・スクール博士課程修了
2001年 上智大学助教授
2008年 上智大学教授
2009年 立命館大学産業社会学部教授
2019年 立命館大学グローバル教養学部教授・学部長

認識を新たにすることを通して社会のどのような変化にも対応し、実践的、創造的に問題を解決していける力を育みます」と学部長を務める金山教授は語る。本学部の大きな特長は、世界トップクラスに位置づけられるオーストラリア国立大学（ANU）と提携し、4年間で2つの学位取得が可能なことだ。学部生全員が1年間ANUでアジア太平洋学を中心に学ぶカリキュラムを編成。一方本学部では、“Cosmopolitan Studies”（文化研究、地域研究を中心とする科目群）、“Civilization Studies”（歴史研究、社会理論を中心とする科目群）、“Innovation Studies”（経営理論と科学技術論を中心とする科目群）の3つの柱で多様な科目を用意している（図）。「ここではグローバル教養学にアジア太平洋学を掛け合わせた、唯一無二の学びが実現し

ています」と金山教授。またすべての科目を英語で学ぶAll Englishのカリキュラムで、少人数教育を徹底するのも特長だ。「教員が学生に教える従来の教育ではなく、互いに意見をぶつけ合い、共に学び合うような授業を展開します。教職員一同『大学教育の風景を変えていく』という気概を持って取り組んでいます」と熱を込めた金山教授。「『世界を変え、未来を創りたい』という高い志を持った学生なら、4年間で必要な素養を身につけ、将来のグローバル社会をけん引するリーダーとなる人材に育ってくれるはず」と期待を寄せる。2020年を見据え、立命館学園はグローバル展開の主要な到達点としてグローバル教養学部を位置づけている。金山教授は、最後にこう語った。「9月には1期生全員が揃い、本格的なスタートを切ります。校友の皆さまにはグローバル教養学部の今後にご期待いただき、またご声援をお願いします」。

図 学びの3つの柱と多彩な学びの分野



2019年度 校友会幹事会報告

2019年6月1日、立命館朱雀キャンパスで、2019年度「立命館大学校友会幹事会」が開催され、約300名が全国から集まった。

以下の議事に加え、参加者全員がグループに分かれ、校友会設立100周年を契機として策定された「校友会活動ビジョン」を基に、未来の校友会活動について意見交換を行った。



報告事項

常任幹事会にて審議・承認された以下の事項について、報告が行われた。

- 校友会活動ビジョンの確定と
中期的な事業計画検討の進め方について
- 立命館大学校友会名誉校友の選任について
- 立命館大学校友会本部役員人事について
- 幹事役員任期満了に伴う次期幹事選任の流れ
- 校友会設立100周年記念事業の進捗報告について
- 「100周年記念オール立命館校友大会」
全体概要について
- 東日本大震災復興支援事業の進捗報告について
- 「オリンピック・パラリンピック出場を目指す
学生・校友への立命館大学校友会激励金」の新設について
- 校友会未来人財育成基金募集推進活動の現状と
2019年度の取り組みについて
- 2018年度の海外校友会の活動報告について

審議事項

以下の事項について審議が行われ、承認された。

- 立命館大学校友会設立100周年記念寄付について
- 2018年度事業報告および2018年度決算報告について
- 2019年度事業計画案および2019年度予算案について

2018 年度決算

(単位：円)

●収支決算書(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

●経常収入の部

科 目	決 算 額
会費収入	226,710,000
資産運用収入	428,461
組織強化事業収入	723,500
校友大会事業収入	8,956,190
広報事業収入	26,325,410
復興支援事業収入	2,270,023
その他の収入	20,091
経常収入合計	265,433,675

●経常支出の部

科 目	決 算 額
組織強化事業支出	44,579,945
校友大会事業支出	98,132,025
広報事業支出	80,132,381
母校支援事業支出	7,182,948
校友会記念事業支出	4,241,913
人件費支出	3,310,936
人件費支出	30,150,244
運営費支出	32,011,042
経常支出合計	299,741,434

経常収支差額	△ 34,307,759
--------	--------------

●貸借対照表(2019年3月31日現在)

●資産の部

科 目	決 算 額
現金預金	71,627,580
立替金	0
仮払金	0
前払金	0
未収金	0
定期預金	950,000,000
資産合計	1,021,627,580

●その他資金収入の部

科 目	決 算 額
校友会基金取崩収入	30,000,000
前期未未収金収入	0
立替金回収収入	0
預り金収入	48,191,500
前払金収入	426,175
期末未収金	0
その他資金収入合計	78,617,675

●その他資金支出の部

科 目	決 算 額
校友会基金積立支出	0
その他の支出	0
前期未未払金支出	20,043,558
立替金支払支出	0
預り金支払支出	40,631,500
前払金支払支出	0
期末未払金	△ 286,479
その他資金支出合計	60,388,579

その他資金収支差額	18,229,096
-----------	------------

当期収支差額	△ 16,078,663
前期繰越収支差額	87,706,243
次期繰越収支差額	71,627,580

●負債の部

科 目	決 算 額
未払金	286,479
預り金	69,810,000
負債合計	70,096,479

●正味財産の部

科 目	決 算 額
定期預金	950,000,000
運用財産	1,531,101
正味財産合計	951,531,101

負債および正味財産合計	1,021,627,580
-------------	---------------

2019 年度予算

(単位：円)

●収支予算書(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

●経常収入の部

科 目	予 算 額
会費収入	222,660,000
資産運用収入	455,000
組織強化事業収入	1,000,000
校友大会事業収入	11,700,000
広報事業収入	26,100,000
復興支援事業収入	800,000
その他の収入	50,000
経常収入合計	262,765,000

●経常支出の部

科 目	予 算 額
組織強化事業支出	49,220,000
校友大会事業支出	110,000,000
広報事業支出	87,740,000
母校支援事業支出	15,250,000
復興支援事業支出	3,330,000
校友会記念事業支出	22,400,000
人件費支出	37,300,000
運営費支出	31,035,000
経常支出合計	356,275,000

経常収支差額	△ 93,510,000
--------	--------------

●その他資金収入の部

科 目	予 算 額
校友会基金取崩収入	600,000,000
前期未未収金収入	0
立替金回収収入	0
預り金収入	58,680,000
前払金収入	0
その他資金収入合計	658,680,000

●その他資金支出の部

科 目	予 算 額
校友会基金積立支出	0
その他の支出	500,000,000
前期未未払金支出	286,479
立替金支払支出	0
預り金支払支出	50,000,000
前払金支払支出	0
その他資金支出合計	550,286,479

その他資金収支差額	108,393,521
-----------	-------------

予備費	0
-----	---

当期収支差額	14,883,521
前期繰越収支差額	71,627,580
次期繰越収支差額	86,511,101

校 友 会 ネットワーク

各校友会が開催した行事の報告と、今後の予定です。

行事報告

2019年1月中旬～5月中旬に行われた各団体の行事の一部を紹介しています。

*詳しくは校友会ホームページをご覧ください
<https://alumni.ritsumei.jp>

都道府県校友会/ 海外校友会

1/26 北海道校友会 総会



2/16 東京校友会 総会



2/16 上海広小路会 総会

35名



3/2 マレーシア校友会 総会

66名



3/4 シンガポール校友会 総会

16名



3/17 長三角校友会 総会

30名



TOPICS

就職活動応援企画 「メントレ」を開催

経済学部では経済学部同窓会の後援を受け、今回で6年目となる就職活動応援企画「メントレ」を1月12日・13日に開催。就職活動を控えた3年生222名を対象に経済学部の校友123名が2日間にわたって、模擬面接やエントリーシートの作成指導、マナー講座などを行いました。



TOPICS

第2回立命館大学 奈良県ファミリー会が開催

2月3日、奈良市内にて「第2回立命館大学奈良県ファミリー会」が開催され、校友・父母・学生の約200名が集まりました。第一部の「就活応援セミナー」では、立命館大学のキャリアセンター、南都銀行立命会、奈良県の企業に就職された若手校友から昨今の就活状況や就活の体験談の報告があり、第二部の「立春懇親会」では、校友・父母の間で活発な意見交換が行われました。終了後には、多くの父母、学生からファミリー会への感謝の声が聞かれました。





4/14 25名
北京校友会 総会



5/11 89名
長崎県校友会 総会
【設立60周年】



学部・学系校友会

1/26 70名
情報会第15回総会



地域校友会

2/9 50名
静岡県校友会
遠州会 & 女子会
2019年立春懇親パーティー



2/11 38名
姫路立命会 総会



3/24 15名
岩手県校友会
沿岸校友大会



4/20 74名
愛知県校友会東三河会
総会



5/11 15名
佐世保比叡会 総会



5/19 116名
奈良県北部校友会 総会



職域校友会

2/6 78名
三菱UFJ銀行
立命館大学OBOG会
総会



2/14 23名
立命館国会の会 総会



2/23 10名
北朋会 総会



5/17 85名
南都銀行立命会 総会



TOPICS

2018年度全国都道府県 校友会代表者会議を開催

2月23日、衣笠キャンパスにて「全国都道府県校友会代表者会議」が開催され、全国の都道府県校友会から約230名が参加しました。今年はグループワーク企画に加えて、+R校友会未来人財育成奨学金受給生による成果発表も開催し、現役学生との活発な情報交換が行われました。



TOPICS

2018年度 新卒幹事が誕生

3月16日、国立京都国際会館にて2018年度新卒幹事懇談会が開催され、各学部から選出された新卒幹事と同日開催された委員会に出席していた校友の間で活発な交流がありました。懇談会を通じて校友会活動について学び、4月21日の常任幹事会において幹事として選任されました。



TOPICS

今年も立命寄席が 開催されました

4月27日、大阪の天満天神繁昌亭にて「第13回立命寄席」が開催されました。立命館大学落語研究会OBで、上方落語界でご活躍中の桂塩鯛・桂小春團治両師匠による「立命寄席」は今年で13回目を迎え、アメリカンフットボールや野球などのスポーツイベントと同様、立命館大学校友が交流する文化イベントとして定着しています。当日は近畿2府4県の来場校友のほか、東京などの遠方からわざわざ参加された校友もいました。桂塩鯛・桂小春團治両師匠が出囃子にのって登場すると、集まった観客からは何度も大きな笑いの渦が巻き起こり、最後は盛大な拍手で幕が下りました。



TOPICS

九州・沖縄 ブロック会議を開催

5月11日、長崎市内にて「令和元年度九州・沖縄ブロック会議」が開催されました。年1回、九州・沖縄ブロック9校友会の代表者が集結し、各県持ち回りで開催されています。今年は、長崎県校友会設立60周年の総会にあわせて開催され、長崎県校友会が運営を担いました。校友会事務局が募集推進の進捗状況と学生とのつながりづくりを報告し、+R校友会未来人財育成奨学金受給生の日野未奈子（院社会2）さんが成果発表を行いました。また、6月から始まる100周年記念オール立命館校友大会開催記念の特別募集に対して九州・沖縄ブロック全体で積極的に取り組むことが確認されました。



サークルOB・OG会

3/16  110名
**体育会準硬式野球部
創部70周年記念式典**



5/19  18名
写真研究会OB会 総会



その他の 校友会グループ

1/12  55名
**辻村・前田・
浦山研究室同窓会、
川畑研究室OB会
合同同窓会**



1/19  約40名
中華校友会総会



4/4  28名
**立命館大学
土木工学科38会**



4/23  46名
**ロータリー立命会
76回例会**



今後の行事予定

2019年8月上旬～10月下旬に
予定されている総会等です（判明分）

※詳しくは校友会ホームページをご覧ください
<https://alumni.ritsumei.jp>

校友会・グループ	日程	会場	問い合わせ先	
沖縄県校友会 総会	8/3(土)	ホテルロイヤルオリオン	島袋 健	090-7587-0858
岡山県校友会 総会	8/25(日) 16:00～	アークホテル岡山	守屋 博司	090-3638-9784
福島県校友会 総会	8/31(土)	郡山ビューホテル	馬場 幸蔵	024-922-4964
ALL立命館交流パーティー	8/31(土)	立命館慶祥中学校・高等学校	立命館慶祥中学校・高等学校 事務局	011-381-8888
千葉県校友会 総会	9/7(土)	聖徳大学 10号館	森下 功	080-5511-6477
新潟県校友会 総会	9/7(土)	アートホテル新潟駅前	渡邊 剛	025-265-6596
広島県校友会 総会	9/7(土)	ANAクラウンプラザホテル広島	足羽 真一	080-5231-1200
全国行政書士立命会 総会	9/7(土) 13:00～	立命館大学朱雀キャンパス1階	橋本 俊雄	059-355-1981
茨城県校友会 総会	9/8(日)	水戸 三の丸ホテル	木村 幸夫	029-252-8401
島根県校友会 総会	9/14(土)	サンラボーむらくも	和田 裕之	0852-21-9907
熊本県校友会 総会	9/14(土)	鶴屋百貨店カーネーションサロン	飯田 俊之	090-1368-8809
大阪校友会 総会	9/18(水)	ホテルグランヴィア大阪	立命館大阪梅田キャンパス	06-6360-4895
秋田県校友会 総会	9/21(土) 総 会: 14:00-15:00 懇親会: 15:30-18:00	秋田ビューホテル	今野 謙	018-831-1250
100周年記念オール立命館校友大会	10/19(土)	国立京都国際会館	校友会事務局	申し込み受付に関する お問い合わせ 075-365-7726 (株)JTB京都支店
京都校友会 総会	10/19(土)	国立京都国際会館	京都校友会事務局	075-813-8216
山口県校友会 総会	10/26(土)	湯田温泉ユウベルホテル松政	中村 史朗	090-7971-4141

ALUMNI NETWORK

立命館大学

学生の活躍

SPORTS & CULTURE

SPORTS スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
077-561-3977
※掲載中の所属・回生などは開催時点のもの

硬式庭球部

「神戸オープン」女子シングルス 優勝

4月1～6日、ブルボンビーンズドーム（兵庫県）で、実業団選手も出場する歴史ある「第28回神戸オープンテニストーナメント」が開催されました。本大会に硬式庭球部の伊藤沙弥選手（経営3）が出場し、決勝戦で7対5、6対2のスコアで勝利し、見事優勝を果たしました。

伊藤選手は3月に行われた「平成30年度関西学生新進テニストーナメント」においても初優勝し、その勢いのまま神戸オープンテニストーナメントのタイトルを獲得しました。



伊藤沙弥選手

相撲部(女子)

「第7回国際女子相撲選抜堺大会」 中量級、重量級 優勝

4月14日、堺市大浜公園相撲場（大阪府）で「第7回国際女子相撲選抜堺大会」が行われ、松本渚選手（スポ健2）が中量級で優勝、今日和選手（国関4）が重量級で優勝しました。今シーズン初戦であり、世界大会の代表選考にも関わる大事な試

最新情報は
こちらを
チェック！



合である中、各階級で上位の成績を収めました。



松本渚選手（前列右）、今日和選手（後列中央）

女子陸上競技部

「IAAF世界リレー2019横浜大会」 男女混合2×2×400mリレー第3位

5月11日、横浜国際総合競技場（神奈川県）で「IAAF世界リレー2019横浜大会」が行われ、女子陸上競技部の塩見綾乃選手（経済2）が日本代表として出場した「男女混合2×2×400mリレー」で3位となりました。非五輪種目ではありますが、塩見選手は「初めてで怖さや不安もあったが、思い切って走れた」と振り返りました。また、本大会は壹岐いちこ選手（スポ健4）も4×100mリレーの日本代表として出場しました。



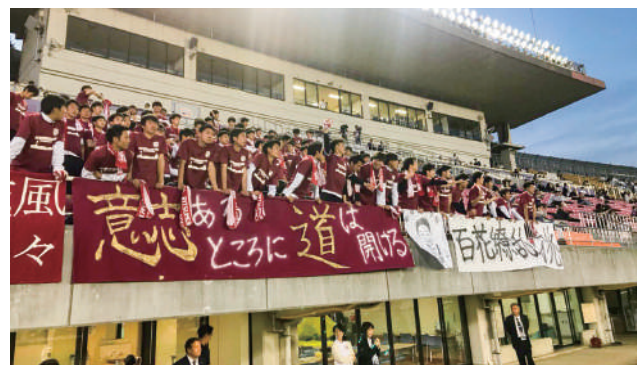
塩見綾乃選手（左）写真提供：月刊陸上競技

男子サッカー部

男子サッカー部が4年ぶりに天皇杯出場決定！

5月12日（日）、西京極陸上競技場（京都府）で「京都FAカップ2019 第24回京都サッカー選手権決勝大会」が開催され、体育会男子サッカー部が京都産業大学をPK戦の末に破り、4

年ぶり8度目の優勝を果たしました。試合は1対1のまま延長戦でも決着がつきませんでした。PK戦を4対3で勝利し、京都府代表として天皇杯出場を手に入れました。



CULTURE/ART 文化・芸術

問い合わせ先：学生オフィス
075-465-8167
※掲載中の所属・回生などは開催時点のもの

応援団チアリーダー部

「体育会体育祭2019」開催

～互いに応援し、刺激し合える関係への第一歩に～

2月18日、応援団チアリーダー部主催の「体育会体育祭2019」が大阪いばらきキャンパスで行われ、体育会のクラブに所属する学生ら260名が参加しました。

本企画は、本学体育会（50の公認団体が所属）が横のつながりを強め、一体感を醸成することを目的に、チアリーダー部の呼びかけで体育会本部、AVA（Athlete Volunteer Association）の協力により開催しました。競技が始まると学生らは、各自が割り当てられた種目（学年対抗リレー、大縄跳び、三人四脚リレー、玉送り、借り人競争、綱引き、部対抗リレー）に参加し、他のクラブの部員と交流を深めながら、汗を流しました。



CAMPUS TOPICS

キャンパストピックス

“EdoMirai Food System Design Lab”が オースティンで未来の食イベントを実施

3月13日、食マネジメント学部 鎌谷かおる准教授・野中朋美准教授が立ち上げた“EdoMirai Food System Design Lab”が、米国テキサス州オースティンで行われた世界最大級のスタートアップイベント「サウス・バイ・サウスウエスト（SXSW）」に参加しました。そして、「The Kitchen Hacker's Guide to the Food Galaxy in SXSW」と題したイベントを共催しました。当日は未来の食のあり方として、江戸から学ぶサステナビリティ「Edo Sustainability：もったいないからちょっといい」を世界に発信しました。



西日本旅客鉄道株式会社と 連携・協力に関する協定を締結

学校法人立命館は、教育研究活動の高度化や地域住民の安心安全、地域活性化、人材育成を目的として、西日本旅客鉄道株式会社（以下、JR西日本）と連携・協力に関する協定を締結しました。3月25日に行われた協定締結式で森島朋三理事長は「立命館は地域社会との連携を重視してきました。これを機にJR西日本様と連携・協力内容を豊かにしていきたい」と述べました。今後も学外の関係機関と連携し、地域への貢献、社会課題の解決に向け、学生・教職員一体となって取り組んでいきます。



森島朋三理事長（左）、三輪正稔西日本旅客鉄道株式会社執行役員近畿統括本部京都支社長（右）

2019年4月、グローバル教養学部、 超創人財育成プログラムがスタート

4月1日、立命館大学は「グローバル教養学部」、「超創人財育成プログラム」を開設しました。グローバル教養学部はグローバル時代のリベラル・アーツに関する学びとオーストラリア国立大学が提供するアジア太平洋に関する学びを修め、2大学の学位取得を目指す学部です。また超創人財育成プログラムは、博士課程（前期・後期）の5年間、所属研究科のみならず企業や地域とのつながりの中で学び、研究する大学院横断プログラムです。おのおの第1期生を迎え、スタートを切りました。



2019年度立命館大学・大学院 入学式を挙行

4月2日、京都市勧業館「みやこめっせ」で2019年度立命館大学・大学院の入学式を挙行し、約9,000人の新入生、ご家族が出席しました。式典では仲谷善雄学長が「立命館での学びを通して、人生を、未来を、切り開いていく力を身に付けてほしい」と祝辞を述べました。続く新入生歓迎セレモニーでは、学生による和太鼓やアカベラ、ダンスなどのパフォーマンスが行われ、最後に立命館大学応援団を中心に会場全体で応援歌「グレーター立命」を歌い、幕を閉じました。



池上彰氏から経済学を学ぶ 経済学部特別講演会「経済学を考える日」を開催

4月18日、経済学部はジャーナリスト池上彰氏を招き、びわこ・くさつキャンパスで、新入生を対象とした特別講演会「経済学を考える日」を開催しました。本講演会は、メディアなどで幅広く活躍されている池上氏から、「経済学って、おもしろい」と題して、大学で経済学を学ぶことの意義、おもしろさなどについて分かりやすく講演していただき、経済学に対する興味関心を引き出すことを目的に、1回生（約800名）の「基礎演習」の授業の一環として実施しました。機会費用や希少性、行動経済学などの理論について身近な事例を用いて説明があり、経済学を学ぶうえで重要なポイントに批判的視点を持つこと、資源の最適配分を軸に考えることなどが挙げられ、学生は生の声に耳を傾けました。



池上彰氏

アドソル日進株式会社と 産学連携協定を締結

4月22日、立命館大学東京キャンパスで立命館大学総合科学技術研究機構とアドソル日進株式会社が、製造業や医療分野における安心・安全なIoTシステムの実現を目的として共同研究を推進するため、産学連携協定を締結しました。今回の連携を機に国内のIoTセキュリティ分野の産学連携拠点となる「IoTセキュリティ研究センター（仮称）」を構築し、研究開発を進めるとともに、確かな知識を持った人材の育成、業界全体の活性化を目指します。



上田富三アドソル日進株式会社代表取締役社長（左）、島川博光機構長（右）

Rをあなたの学び場に
[立命館アカデミックセンター]



shiRuTo
知ると、ツナガル、ウゴキダス。



立命館大学グローバル教養学部 開設記念式典を開催

4月24日、大阪いばらきキャンパスで、グローバル教養学部（以下、GLA）の開設記念式典を挙行了しました。GLAは、オーストラリア国立大学（以下、ANU）とのデュアル・ディグリーで学ぶ学部です。今秋には、秋入学の学生が加わり、約100名の学部となる予定です。また、国際寮機能を兼ね備えた国際交流拠点「立命館大学分林記念国際交流館（仮称）」がキャンパス内に建設中であり、グローバルな学びを支える環境が一層充実します。立命館大学は、ANUとの新しい形の連携を通じて、これまでにない世界水準の学びをさらに展開していきます。



金山勉学部長（左）、トニー・アースキン ANUアジア太平洋学群コーラル・ベル・スクール副学群長（右）

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」 事業の中間評価で最高評価を獲得

平成28年度に採択された文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」の中間評価において、立命館大学は最高評価となる「S評価」を獲得しました。学長直轄組織「男女共同参画推進リサーチライフサポート室」を立ち上げ、学内保育所の開設や全学部への女性教授の配置、女性無期教員の採用促進、女性研究者による科研費採択件数の増加など、ダイバーシティ環境の実現に向けて改革を進めていることが高く評価されました。



三菱地所株式会社と 「戦略的DXパートナーシップ協定」を締結

3月28日、学校法人立命館と三菱地所株式会社は、人とロボットが協働するSociety 5.0*時代の施設運営管理モデルの構築に向け、実証実験や情報発信などを行うことを目的に「戦略的DX（デジタルトランスフォーメーション）パートナーシップ協定」を締結しました。今後は学校施設の管理効率化や「学校」という領域での新たな価値提供を通じて、最先端テクノロジーの活用に関する情報発信や、人とロボットの協業実現に関する教育・研究、実用化を目指します。

※ Society 5.0：サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、日本が目指すべき未来の姿として提唱された社会（Society）



仲谷善雄総長（左）、吉田淳一三菱地所株式会社執行役社長（右）

日本初上陸の運搬ロボット「Marble」稼働 三菱地所株式会社とロボット活用実証実験を実施

5月1日から8日にかけて、学校法人立命館と三菱地所株式会社は、日本初上陸の運搬ロボット「Marble [マーブル]」や清掃ロボット、運搬ロボットを稼働させ、実証実験を行いました。これは、ロボットを活用した次世代型の施設運用管理モデルの構築を目指し、三菱地所と締結した「戦略的DXパートナーシップ協定」に基づく取り組みです。取り組みを通じて、人とロボットの協業実現に向けた教育・研究と実用化を目指していきます。



（左から）川村貞夫教授、仲谷善雄総長、松原洋子副総長

VIEW OF THE WORLD



「負けたくない」。小学校5年生の運動会で2番になったことが悔しくて陸上競技をスタートした壹岐あいこ選手（スポ健1）は、中学3年、高校3年と節目の年に全国の頂点に輝いた。「日本を背負う選手になりたい」。そう語る彼女は、学生アスリートとしてのこれからの4年間にどんなドラマが待っているだろうか。

PROFILE

壹岐あいこ
スポーツ健康科学部1回生／女子陸上競技部（100m、200m）／京都橘高等学校出身（京都）。2015年全国日本中学校陸上競技選手権200m優勝、2015年ジュニアオリンピックAクラス女子100m優勝。2018年全国高校総体で200m優勝と同種目は中学・高校共に頂点に輝いた。

AIKO IKI

今春入学した新入生は8,826名。
今回は、新入生を代表して4名の学生アスリートたちに、
自身の競技に対する思いと抱負を語ってもらいました。

2016年夏、アメリカで開催された世界トップクラスの競技大会『X Games（エックスゲームズ）』のスケートボード部門で優勝を飾り、一躍世界から注目される存在となった中村貴咲選手（食マネ1）。「食とスケートボードをつなげる先駆者になりたい」。まだマイナー競技といわれるスケートボード界の期待を背負い、彼女のチャレンジが始まる。

PROFILE

中村貴咲
食マネジメント学部1回生／スケートボード／大阪学芸高等学校出身（大阪）。6歳の頃、地元神戸の『"g" スケートパーク』でスケートボードを始める。2016年、X Games オースティン大会スケートボード競技においてアジア人初となる金メダルを獲得。

KISA NAKAMURA



最初にカヌーに出合ったのは遠藤環太選手（スポ健1）。5歳の時、祖父に連れられて参加したカヌー教室が楽しく、競技を始めた。数年後、小学3年生になった今西陸人選手（経済1）が両親の勧めで同じカヌー教室にやってくる。幼稚園が同じだった二人は、カヌーで再会することとなった。「座右の銘は？」と聞くと、「きつくなってからが練習」と今西選手。遠藤選手は「常に楽しむこと」と話す。お互いに「2018年のジュニア世界選手権大会」が最も印象的なレースだったと振り返る。立命館大学でもチームメイトとなる二人。実力者がそろう環境を生かし、インカレ日本一、U-23日本代表、そしてオリンピックへ。今後も切磋琢磨し、高みを目指す。

PROFILE

今西陸人（写真左）
経済学部1回生／カヌー部／滋賀県立堅田高等学校出身（滋賀）。U-18日本代表。1回生から4回生まで、何らかの形で大学日本一を達成し、U-23日本代表を目指す。
遠藤環太（写真右）
スポーツ健康科学部1回生／カヌー部／滋賀県立堅田高等学校出身（滋賀）。U-18日本代表。インカレ個人4連覇、東京五輪、パリ五輪も視野に練習に励む。

RIKUTO IMANISHI & KANTA ENDO



就任(内定含む)	
中室和臣氏（'83 経営） 株式会社南都銀行 取締役常務執行役員経営管理本部長	奥野美奈子氏（'89 法） 株式会社京都銀行執行役員
奥村浩二氏（'84 経済） 株式会社東急ホテルズ執行役員	臼井朋貴氏（'91 経済） 株式会社じぶん銀行 代表取締役会長兼社長
井辻秀剛氏（'84 経営） 北陸コカ・コーラボトリング株式会社 代表取締役社長	白川儀一氏（'93 産社） 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 執行役員（経営企画部長）
安喰哲哉氏（'85 経済） 株式会社山陰合同銀行常務執行役員	
黒田伸哉氏（'87 経済） 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 執行役員（関西第二本部長）	
当選	
富田裕樹氏（'99 経営） 大阪府池田市長選挙	
訃報	
橋本二三男氏（'57 文） 元立命館中学校・高等学校校長	
川端治夫氏（'61 文） 元三重県校友会副会長／ 元三重県校友会中勢会会長	
田中健明氏（'61 理工） 元神奈川県校友会会長	
寺地寛樹氏（'87 法） 法学部同窓会副幹事長	
角田修一氏 立命館大学経済学部名誉教授	

校友会へご寄贈くださいました本の中から 一部を紹介させていただきます。	
◆中村一平氏（'73 理工）共著 『基礎から学ぶ構造力学』 森北出版 2,800 円＋税	
『入門 維持管理工学』 森北出版 2,600 円＋税	
◆小池壮太氏（'00 政策）絵 『しんぶんのタバー』 PHP 研究所 1,200 円＋税	

アンケートにお答えいただいた方に抽選でプレゼントをお贈りします！

いつも、校友会報「りつめい」をご愛読いただきましてありがとうございます。校友会事務局では、より充実した会報をみなさまにお届けするため、アンケートを実施しています。ご協力いただいた方の中から抽選で、プレゼントをお贈りいたしますので、ふるってご応募ください。なお、当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

アンケート回答方法

- 携帯電話、スマートフォンで簡単アクセス！
- または、
- 校友会ホームページ トップのバナーをクリックしてアクセス！

立命館オリジナル
高機能マウスをお贈りします



「至福の4分間」を久しぶりで味わった。今シーズンの最後を飾る「世界フィギュアスケート国別対抗戦」男子フリーの演技を見た後で、今、原稿に向かっている。自らの限界を超える力で挑戦し続け、挫折を繰り返しながらも諦めることなく、自身の存在を美に昇華させる選手たち。彼らの4分間はどんなに長い時間だろうと思う。小林秀雄のエッセイに「時間はひとによって長さが違う」という言葉がある。盤の前に座った棋士はどんな時間を生きるのだろう。研究者が成果を得るまでには、太古からの時間が流れているのかもしれない。今号と次号では、卒業してからずっと現在もお校友会に尽力くださっている校友の、長い活動の歴史も紹介している。（加藤美佐子）

編集室から

フランス・パリのノートルダム大聖堂の尖塔が大規模な火災で崩壊したとのニュースが飛び込んできた。現地時間の4月15日夜に火災が発生し、パリ消防局が懸命に消火に当たったが、世界文化遺産にも登録された貴重な歴史的建造物は大きく毀損してしまった。この大火災を受けて、文化庁が全国の国宝・重要文化財建造物の防火対策について緊急調査に入ると4月17日に報道があったが、日本では、1949年には奈良の法隆寺金堂、1950年には京都の金閣寺が火災に見舞われたという経験をしている。立命館大学では、理工学部の大窪健之教授が、歴史都市と文化遺産を次世代へと受け継ぐための美しく安全な地域づくりに向けた「文化遺産防災学」を研究されていると聞く。母校での研究や学生たちの学びが、世界の文化遺産の防災にきっと役立ってくれることと思う。（あ）

新元号「令和」は、立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所が読み解くと「すばらしく、なごやかな時代」だそうだ。「令」と「和」は、偶然にも今は亡き母と伯母（母と仲の良かった父の姉）の名である。亥歳のわが身。猪突猛進しつつ、先祖を敬い（あるいは先祖が見守っている）ので和やかに交流せよとの使命をもらったような気がする。校友会も設立100周年。活動ビジョンの「応援しよう、個のかがやきを。」ということばを励みに、今年は心の「ボーダー」を超え、覚醒。挑戦しようと思う。（山岡祐子）

ようへんでんちくちやわん
曜変天目茶碗をご存じだろうか？世界で三碗しか現存が確認されていないという大変希少な茶碗である。宇宙的な青色を基調にしながら見る角度によって文様が浮かび上がり、色彩が変化する茶碗。以前から一度生で見てみたいと思っていたのだが、幸いにもその機会に恵まれた。大変な人混みの中ではあったが、息をのむその神秘的な美しさに圧倒されてしまった。この貴重な茶碗が後世に大切に引き継がれることを願うばかりである。現在は美術鑑賞を趣味として楽しんでいる私だが、そのきっかけは大学入学間もない時に受講した科目での美術品鑑賞であった。感受性の強い若い時の体験というものは、後々まで私自身に影響を与え続けているのだと今回の展覧会で改めて感じた次第である。（森 力）

BOOKS FOR BOOKS
～立命館の本活～

2013年4月から2019年3月末までに**5,905名**の方から**278,281冊**の本をお送りいただきました。誠にありがとうございます。
引き続き、校友のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

☺ どのような仕組みですか？



☺ 以下の本は取り扱えませんのでご了承ください。

- ISBN のない本
- 百科事典 ● コンビニコミック ● 個人出版の本
- マンガ雑誌 ● 一般雑誌
- 同一タイトル 11 点以上 ● シングル CD
- 投票券等特典付き CD

☺ 手続きの方法は？

①書籍を段ボール箱に入れる。

②電話(バリューブックス ☎0120-826-292) かWEBで集荷を依頼する。

※お電話の場合は右の「申込書」をキリトリ線に沿って切り取り、必要事項をご記入のうえ段ボール箱に入れてください。
※5冊以上であれば送料は無料です。
※1回の申込箱数は、3箱までとさせていただきます。

詳しくは  **WEB** をご覧ください。

お問合せ先

学校法人立命館 総務部 寄付事務局 TEL：075-813-8110（平日 9:30～17:00）

お申込みに関してのご注意

買取額は市場価格等を考慮して（株）バリューブックスにて査定されます。買取額は需要と供給によって決まるため、ご自身が大切にされている本であっても、残念ながら低額となることや値段がつかないこともございます。お申込みに際しては、その点をご理解くださいますようお願い申し上げます。

立命館大学国際平和ミュージアム企画展のご案内

特別展	第125回ミニ企画展示	第126回ミニ企画展示
世界報道写真展2019 —WORLD PRESS PHOTO 19— 世界報道写真財団（本部：オランダ）が毎年開催している「世界報道写真コンテスト」入賞作品で構成する世界規模の写真展。  ※会期中、関連企画を開催します。詳細はホームページ、Twitterをご覧ください。 世界報道写真展2019 ジョン・ムーア、グッティイメーシズ 国境で泣き叫ぶ少女 6月12日、米国テキサス州マッカレンで、母親サンドラ・サンチェスが国境監視の取り調べを受けている間泣き叫ぶホンジュラスの子どもやナ。	ハンパク1969 —反戦のための万国博— 1969年8月、大阪城公園を会場に、全国から多くの若者を集めた「ハンパク」（反戦のための万国博）から50年。「ハンパク」は何をもたらしたのでしょうか。  ハンパク会場風景（1969年 倉田光一撮影）	熟覧Ⅳ —メディア資料室への誘い— 大好評企画の第4弾。立命館大学の学生と留学生が、収蔵資料や図書を通して国際色豊かなミュージアムの魅力をお伝えします。  昨年度の展示の様子

会 期	開 館 時 間
特別展	午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）
第125回ミニ企画展示	休 館 日 日曜日及び、祝日の翌日（日曜日が祝日の場合は開館、翌日が休館） ※ただし、8/4（日）、9/1（日）は特別開館 ※2019年4月より日曜日が休館になりました
第126回ミニ企画展示	観 覧 料 一般400円(350円)／中・高生300円(250円)／小学生200円(150円) （ ）は20名以上の団体料金／障害者手帳等をお持ちの方（介助者1名を含む）は無料

※「世界報道写真展2019」開催期間中は、大人500円（個人・団体とも）になります。
※常設展示（地階・2階）は、左記展示期間以外でも見学することができます。

立命館大学 国際平和ミュージアム
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL.075-465-8151 FAX.075-465-7899
URL▶https://www.ritsumeikan-wp-museum.jp/

立命館大学国際平和ミュージアム
常設展 特別展
校 友 招 待 券
（校友1名連入館無料）
校 友 会 報 「りつめい」
No.277